

昭和57年度全国集会の御案内

日時：昭和57年8月7日(土) 於：倉敷文化センター  
13:00～15:30 研究発表会・講演  
15:40～16:00 総会  
16:10～17:00 同定会及び珍種紹介・交換会(参加自由)  
17:30～ 懇親会

昭和57年8月8日(日) 岡山県水草繁茂地バスツアー(スケジュール未定)

本年度は白壁の町、倉敷で全国集会を開催致すことになりました。今回はバスツアーなども企画致しておりますので、御参加の有無、宿泊施設の御紹介など詳細は、追って御連絡申し上げます。また、同定会や懇親会を通じて会員相互の親睦をはかりたいと考えておりますので、奮って御参加下さい。なお、当日の「研究発表」を御希望の方は、5月1日までに標題と発表者名(所属)を明記し、下記宛お申し込み下さい。発表時間15分、質疑応答5分と致します。全国集会に関するお問い合わせ、御意見、御希望等ございましたら、下記迄御連絡下さい。

連絡先：〒710 倉敷市中央2丁目20-1 岡山大学農業生物研究所 沖 陽子(TEL 0864-24-1661)

◎ 新著紹介

豊田清修著「ハスの研究」(有明書房 昭和56年11月、A5版168p, 3,000円)

著者の前著「ハスの実の研究」(井上書店, 1966年)の内容はやや特殊であったが、今度の本は、ハスとはどういう植物であるのかさまざまな側面から描かれてあって、親しみやすい本だ。ハスの進化の考察のところで、スイレン目の他のグループとの系統関係という現代的な問題が全くふれられていないし、生態についても萌芽以外は、内容に乏しく、もの足りない面も多いが、著者にとっては畑違いの領域なのであろう。このページ数で3,000円というのはいかにも高価すぎるが、営利と離れてこのような本が存在する事情も理解しなければならぬのだろう。以下に目次をかかげておく。

1. ハスの形態
2. ハスの生理・生態
3. ハスの生理・生化学
4. 古生と現生のハス
5. 行田出土のハス
6. ハスの栽培法
7. 古典に現れたハス
8. ハスの利用法
9. ハスの進化に関する考察

(角野)

◎ 投稿のお願い

原稿は横書き原稿用紙(400字詰)を用い、図表は別紙に書いて下さい。別刷等はできませんが、原稿掲載者には会報10部(短報類は5部)贈呈します。希望により

若干の増部は可能です。

原稿の送り先 〒657 神戸市灘区鶴甲1-2-1  
神戸大学教養部 角野康郎宛  
次号発行予定 6月(原稿締切5月10日)

訃報 中川盛四郎氏

京都府立植物園に御勤務でしたが、昨年12月24日、肝臓炎にて急逝されました。まだ38才の若さで今後の御活躍が期待されていただけに、誠に残念でございます。ここに謹んで御冥福をお祈りいたします。

水草研究会会報 No 7 (1982年3月)  
〔Bulletin of Water Plant Society, Japan〕  
発行 水草研究会(〒123 東京都足立区梅田3-26-28 大滝方)  
振替 東京6-81925